

# ラジオNIKKEI 月曜日16時～

## 『キラメキの発想』 資料

2023年10月16日放送分

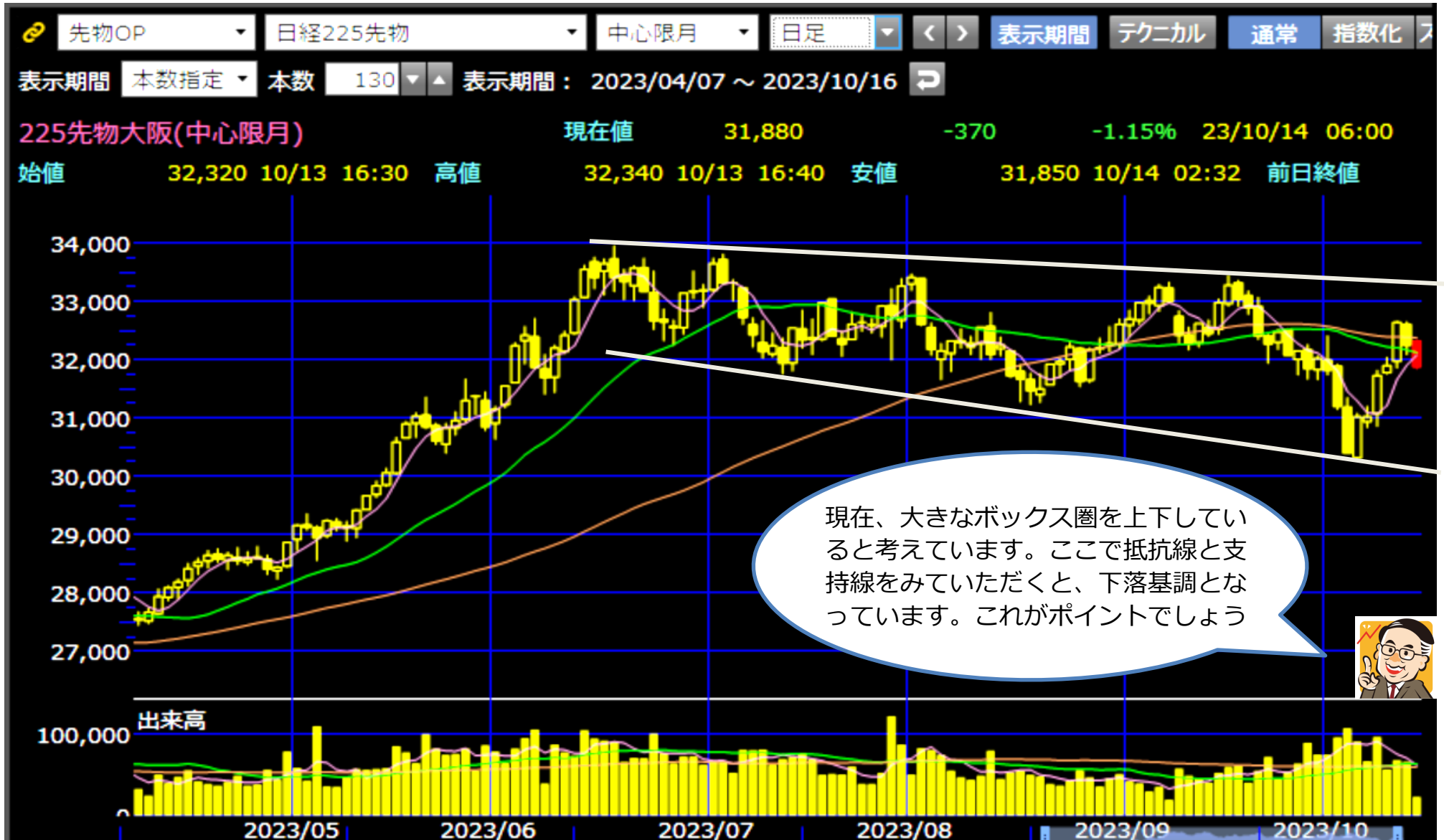
放送では主に日経平均株価を大きく動かしそうな内部・外部要因について、日経225OPトレーダーの視点から、さまざまなファンダメンタル指標やテクニカル指標などを用いて分析していきます。なお、主宰しているオプション倶楽部の詳細については倶楽部サイト「[optionclub.net](https://optionclub.net)」をご覧ください。「OP売坊戦略」で検索！



OP売坊



# 日経平均はボックス相場を形成中？





# 2023年11・12月限SQ日までの注目イベント

## <米国>

**11月01日：政策金利決定会合**

**11月03日：雇用統計（10月分）**

**11月14日：消費者物価指数（10月分）**

**11月14日：米暫定予算失効日**

**11月15日：生産者物価指数（10月分）**

**11月22日：FOMC議事録**

**12月08日：雇用統計（11月分）**

**12月13日：政策金利決定会合**

## <欧州・英国>

10月26日：欧州政策金利

11月02日：英国政策金利

## <日本>

**10月27日：消費者物価指数（東京10月分）**

**10月31日：政策金利決定会合**

**11月06日：先物・OPの証拠金計算方式変更**

**11月13日：企業物価指数（10月分）**

**12月05日：消費者物価指数（東京11月分）**

**12月19日：政策金利決定会合**

※毎月第二金曜日（原則）は日経225月次OP期近の未決済建玉が清算されるSQ日のため2250Pトレーダーにとって区切りとなる日です

10月下旬から11月上旬にかけて多くの日本企業で決算発表があります。特に今回の決算発表は、円安進行をどれだけ織り込んでくるかに注目しています



## 2023年 10月

15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

## 2023年 11月

			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

11月3日は祝日取引が実施されません

## 2023年 12月

						1	2
3	4	5	6	7	8	9	

11月23日は祝日取引が実施されます

- 日経225ミニオプションのSQ日
- 日経225ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日
- 日経225先物・ミニ先物・マイクロ先物、月次オプション、ミニオプションのSQ日

注) 予定は予告なく変更される場合があります。  
出所) ブルームバーグ、ロイターなどから筆者作成

※OP売坊公式X (旧ツイッター) 『@OP49431790』でもニュースについてつぶやいています



# OP売坊のグレイ・リノ

サイは普段おとなしいが  
怒ると、とっても怖いのだ



- 🐘 気候変動による食料価格高騰・食料危機
- 🐘 **地政学的リスクの複雑化**（ウクライナ・中東・中国など）
- 🐘 日米欧でスタグフレーション（景気後退+インフレ）確定か？
- 🐘 **日米欧中の経済・財政政策の不確実性（債務増加）**
- 🐘 米個人消費に暗雲
- 🐘 **高利回り債（ジャンク債）市場の崩壊**
- 🐘 **基軸通貨「米ドル」の没落**
- 🐘 **BRICSの台頭**
- 🐘 下院議長解任後の米国大統領選挙
- 🐘 日本の解散総選挙
- 🐘 日本の2023・24・25・30・40年問題と預金封鎖
- 🐘 日銀YCC政策の限界と増税ラッシュ
- 🐘 中国の不動産バブル崩壊懸念と景気失速
- 🐘 **バフェット指数（株式時価総額÷名目GDP）の異常値**  
 米国：162.1（10月10日概算）、174.2（7月19日概算）  
 日本：147.9（10月12日概算）、153.8（6月16日概算）

米国の予算・債務上限問題の他、急上昇してきたのは、やはり中東状況でしょう。さらに、中国も大きな爆弾を抱えている状態です。日本は当面、電撃解散でしょうか？ 岸田首相が退陣すると、その時の株価水準にもよりますが、株価上昇で反応するかもしれません



など

グレイ・リノ（灰色のサイ）とは、高い確率で大きな問題を引き起こすと考えられるにも関わらず、軽視されている事象のこと。それが**起これば大きな値幅が出る**ため、OPトレーダーに重要となる。特に**PUT買い**を仕掛けられる可能性や、破産もあり得る**PUT売り**を避けられる可能性が高くなる。



# パレスチナ・イスラエル紛争は欧州経済にもダメージを



パレスチナ・イスラエル問題が中東や欧州に波及するリスクが出てきました。例えば、欧州への物流に支障が出てくる可能性が高まっています。シリア上空も通れなくなってきたからです。これによって欧州でインフレが再上昇するリスクが出てきました

## <2023年10月13日の反応>

金	1932.75	+3.34%
WTI原油	87.73	+5.13%
DAX	15186.66	▲1.55%
CAC40	7003.53	▲1.42%
EUR/USD	1.0504	▲0.30%



ドイツ株指数のDAXやフランス株指数のCAC40を示したのは、欧州に影響があると市場が考えたことで株安となっているからです

出所) 素材ライブラリー.com 「<https://www.sozai-library.com/>」

Frame illust 「<https://frame-illust.com/>」 より筆者加筆



# 米インフレ高止まり、各所にひずみが出ても高金利政策維持か

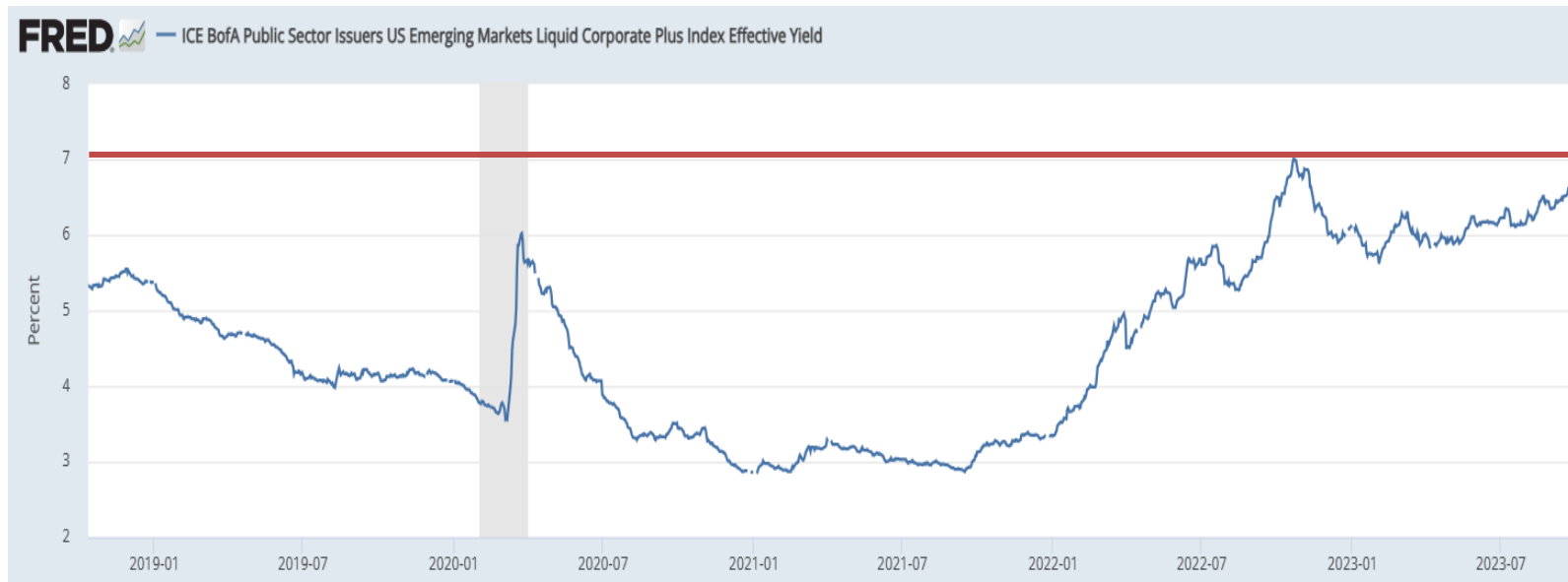
## クリーブランド連銀CPI予想（2023年10月13日現在）

INFLATION, YEAR-OVER-YEAR PERCENT CHANGE

Month	CPI	Core CPI	PCE	Core PCE	Updated
October 2023	3.42	4.16	3.23	3.66	10/13
September 2023			3.46	3.70	10/13

12日発表の米9月分CPI（消費者物価指数）は前年同月比3.7%でした。ク連銀は10月分を低下と予想していますが、コアCPIはほぼ横ばいとなっています

## 低格付け債（ジャンク債）利回り（2023年10月12日現在）



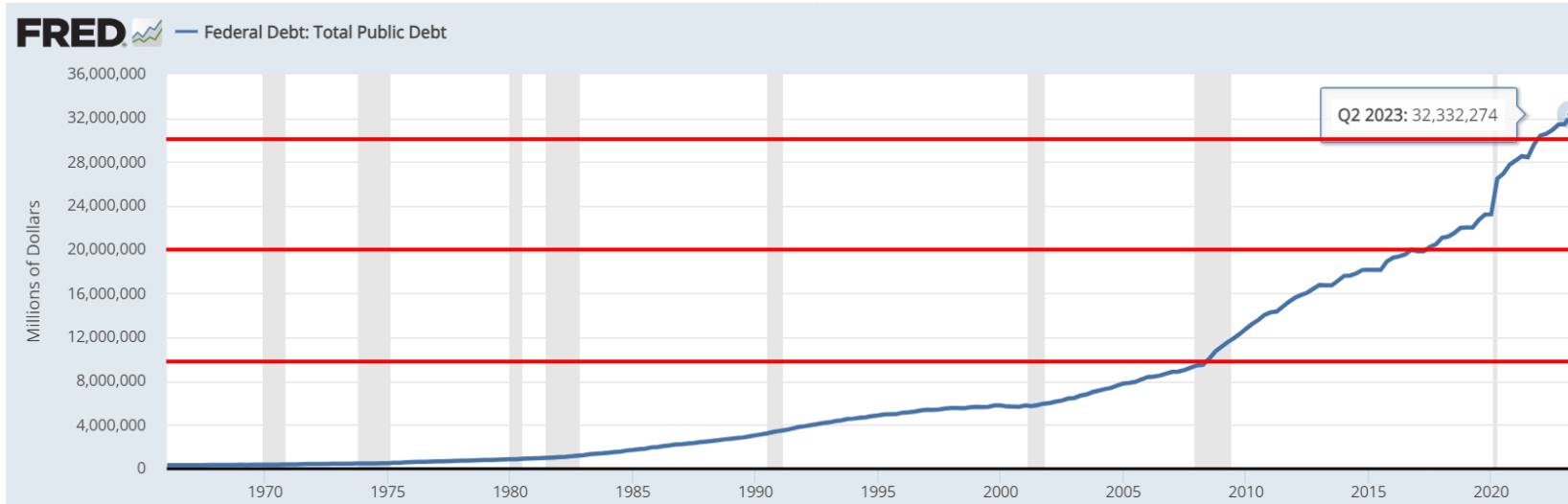
JPモルガンの数字では、3、6、9月の低格付け企業のデフォルト率は、それぞれ1.27%、1.64%、1.32%とそれほど大きく上昇していません。今後の数字に注目しています





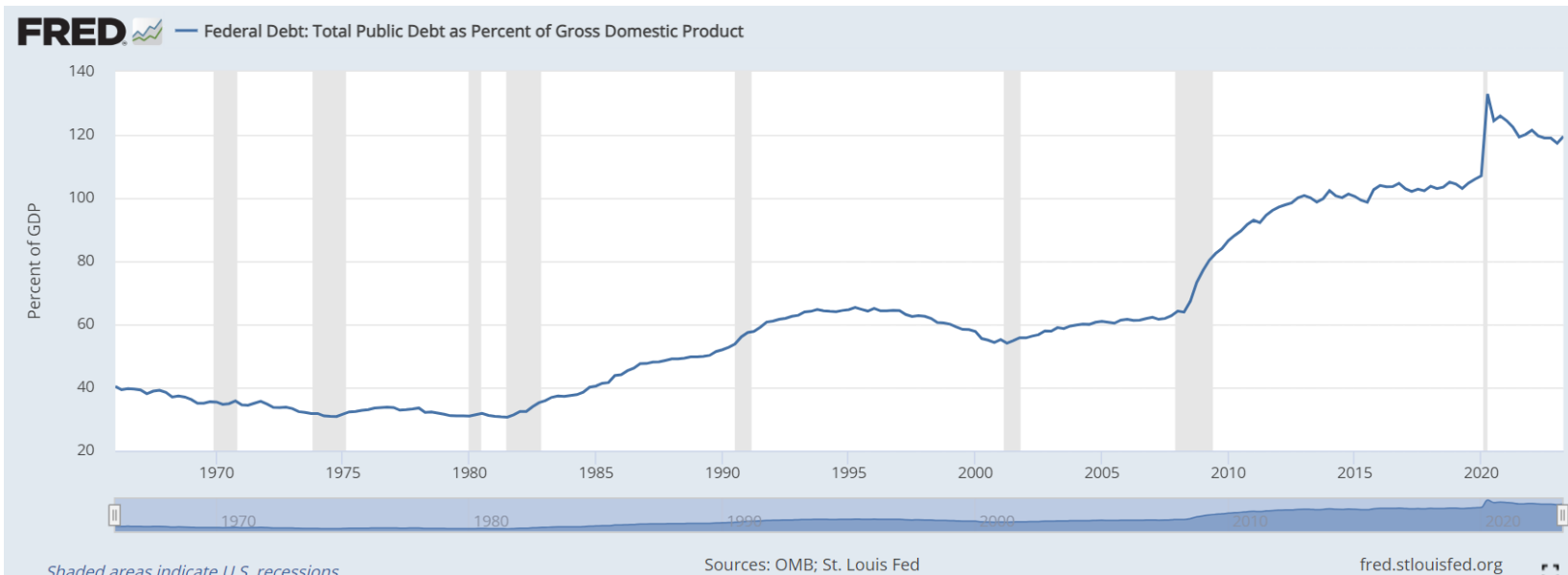
# 米国の債務増加は米ドル信認に逆風か

## 米国の債務残高



赤線は10兆ドルごとの水準です。最初の10兆ドルは約238年、次の10兆ドルは約8年、その次は約3年で10兆ドルの借金が増えました

## 米国の債務残高対GDP比



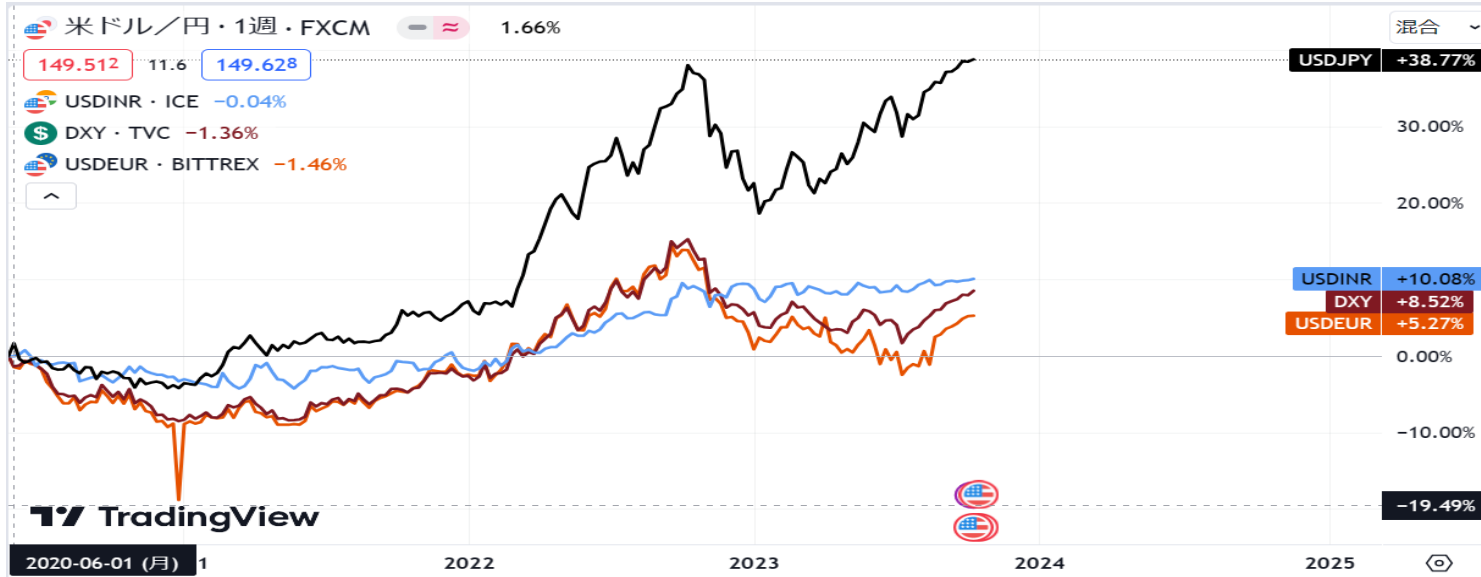
総額でも、GDP対比でも悪化しています。海外投資家が多く所有している米国債を魅力的に見せるには金利を上げるしかないのかもしれない





# 米ドル防衛のため金利は下げられない？

## 米ドル指数 (DXY) とドル円、ドル印ルピー、ドルユーロ



米ドルは日本円に対しては強含んでいます。米ドル指数では、金利が上昇しているにもかかわらず横ばいです。つまり、米ドルの信認を維持するために金利を引き上げているとみとれます。



## 10年物米国債利回り



足元ではBRICSのドル離れからドルの信認が低下しつつあるなか、金利を高くすることで何とかドルの信認を保っていることがチャートを並べるとみえてきます。

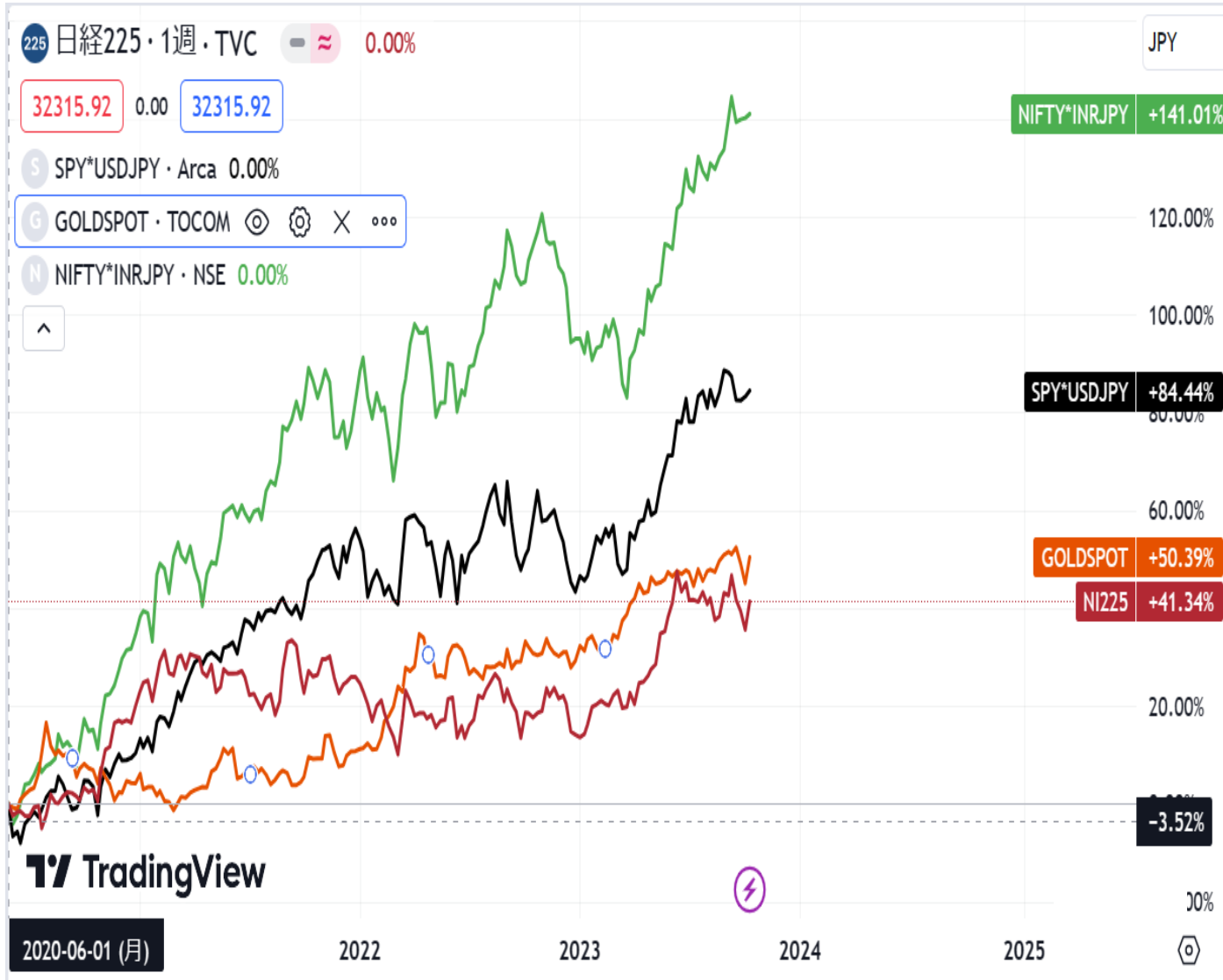
出所) TradingViewより筆者試算 (2023年10月13日現在)





# 円安で日本株は見方によって一人負け

コロナショック後の円建てS&P500・円建てインドNIFTY・金・日経平均



出所) TradingView (円建て・2023年10月13日現在)

## <平均年齢：2020年>

- インド： 28.43歳
  - 世界平均： 30.55歳
  - ASEAN平均： 31.18歳
  - 米国： 38.31歳
  - 日本： 48.36歳
- 出所) 国連

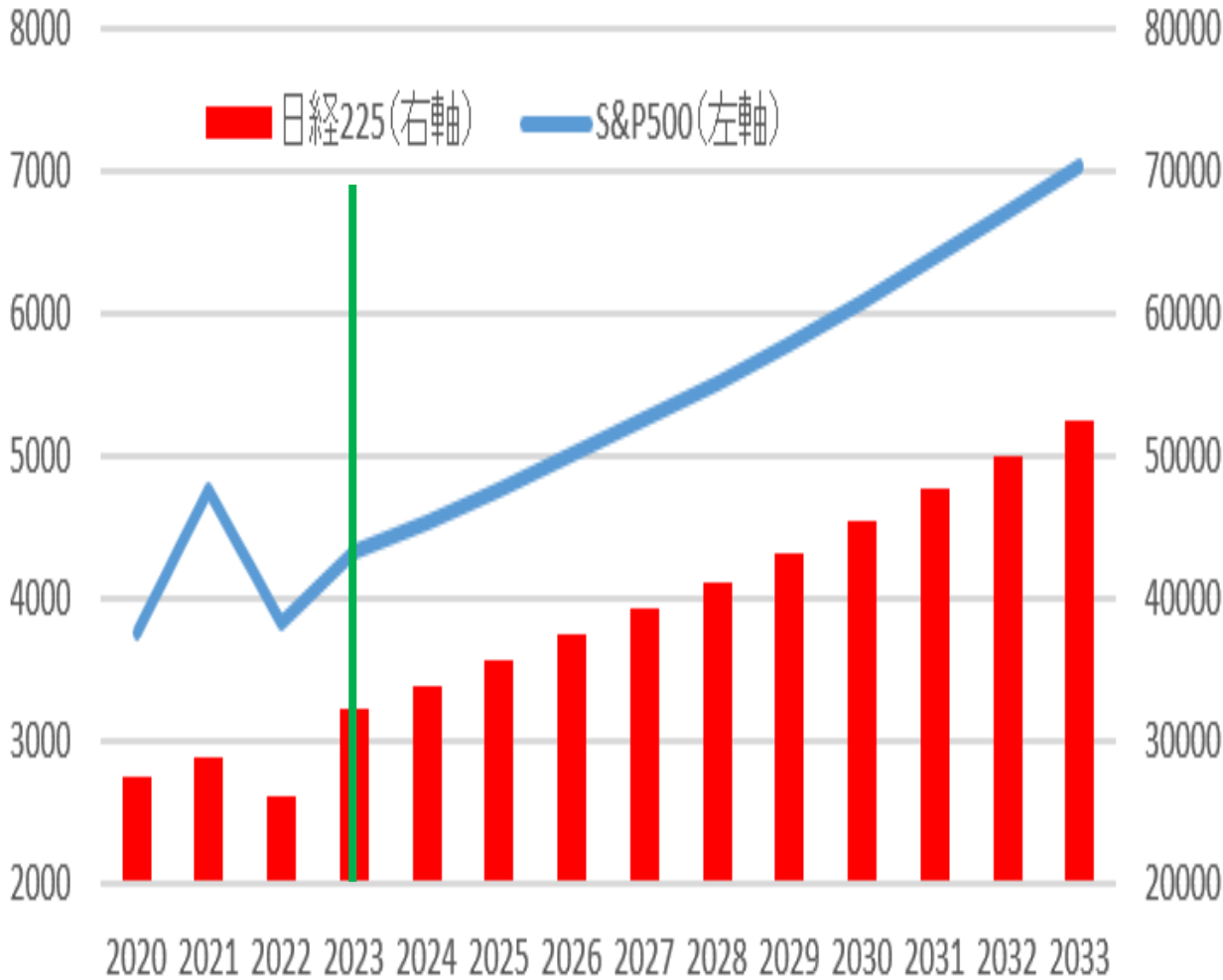


前回もこのスライドを提示しましたが1カ月経っても大きな状況に変化がありません。日経平均は海外株との比較で一人負けの様相です。成長に限界が来ている段階では、長期分散投資よりもロング＝ショート戦略のほうが有効でしょう



# 5%の運用を目指すには新たな視点・戦略の採用も

2023年10月から日経平均とS&P500が年5%上昇した場合



出所) ブルームバーグより筆者作成

5% 複利		S&P500	日経225
	100.00	4,327.78	32,315.99
1 年後	105.00	4,544.17	33,931.79
2 年後	110.25	4,771.38	35,628.38
3 年後	115.76	5,009.95	37,409.80
4 年後	121.55	5,260.44	39,280.29
5 年後	127.63	5,523.47	41,244.30
6 年後	134.01	5,799.64	43,306.52
7 年後	140.71	6,089.62	45,471.84
8 年後	147.75	6,394.10	47,745.44
9 年後	155.13	6,713.81	50,132.71
10 年後	162.89	7,049.50	52,639.34

注) 2023年10月13日現在

債券を5%複利で運用できるなら、日経平均は10年後に5万円を超えていないと、相対的に負けです。5%ともなると、複利の効果はかなり大きくなるのです





# 売坊流日経225オプショントレード入門セミナー

Find Your Options!

## 11月25日（土）10時～（オンライン開催）

不透明な時代、225OPで運用の幅を広げてみたい方のために

📖特典1 受講前に『売坊流OPトレード実践Q&A』を進呈!!

📖特典2 受講後に『入門テキスト』を進呈!!

### 【講演予定】

- ① 入門戦略「日経225CALL売りトレード」の優位性と心構え
- ② 最適な権利行使価格を選ぶコツ
- ③ 警戒すべき局面とは
- ④ 最新の日米市場分析
- ⑤ 補完戦略「日経225OP買いトレード」の勘所



今なら最大半額!!

早期割引中

↓↓↓詳細は...↓↓↓

専用ページ <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011448400008>

オプション倶楽部 検索



# 【オプション倶楽部】OP売坊戦略コース



一緒に資産運用の達人を目指しませんか？

12月開講の新規会員 20名様限定募集

充実の180日間！！

(2023年12月～2024年5月末)

米国株OP戦略やFX-OP戦略なども紹介

*Find Your Options!*

## <実践を支える7つのコンテンツ>

- ① 学習プログラム（動画：全7編66回）
- ② 週次レポート（日米市場分析・今週の戦略など）
- ③ 月次セミナー（オンライン生配信とオンデマンド配信）
- ④ アラートメール（暴騰・暴落注意報など）
- ⑤ 個別質問掲示板（スレッド形式で過去の質疑応答も閲覧可）
- ⑥ リスク管理エクセルシート（225OP用と米国株OP用）
- ⑦ 入門テキスト（PDF：索引付き）

99%の確率で年率15%の収益を安定的に稼ぐことを目的としています。成功へのカギは確率統計とリスク管理だけ！



オプション倶楽部

検索

専用ページ <https://www.tradersshop.com/bin/showprod?c=2011448500005>



# 日経225OP以外にも収益機会が

## 商品（コモディティ）

- ◎ ゼロにはなりにくい
- × 取り扱いのない場合がある

## FX

- ◎ ゼロにはならない
- △ 主要通貨なら暴落の可能性が小さい

## ボラティリティ

- ◎ ゼロにはならない
- × 取り扱いのない場合がある



「finviz」で検索するとOPトレードのできる銘柄が**5300銘柄**以上出てきます（FX-OPを除く、3月8日現在）

## 株式

- ◎ 高配当株やボロ株など対象が豊富
- × 倒産リスクがある

## 債券

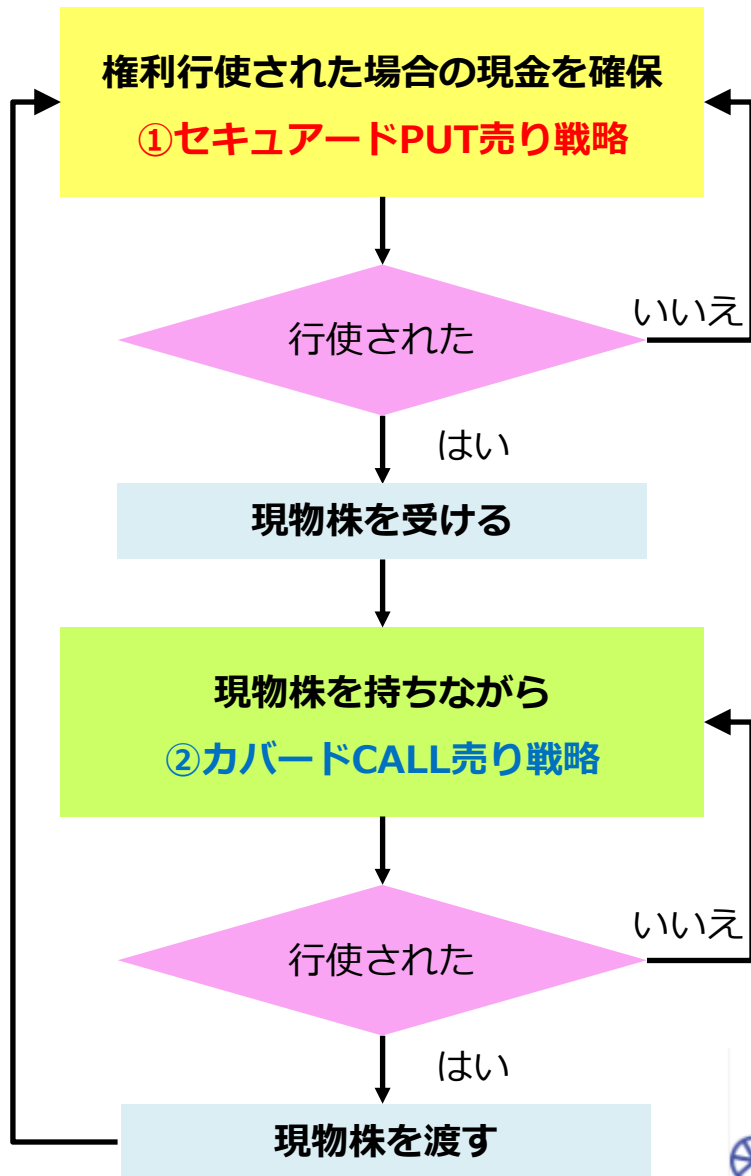
- ◎ ゼロにはなりにくい
- × 株式に比べて選択肢が少ない





# 売坊流米国株ホイール戦略

## <OP 2 段構えの米国株運用戦略>



### ①セキュアードPUT売り戦略

買いたい銘柄に対し、安い権利行使価格（OTM）のPUTを売る戦略。権利を行使された場合、現物株をOPプレミアム分だけ安く、また当初よりも安値で買えたことになる。

### ②カバードCALL売り戦略

保有する現物株に対し、高い権利行使価格（OTM）のCALLを売る戦略。上がらなかった場合は、CALLのプレミアムが収益となる。権利を行使された場合は、保有株を渡す。

PUT売りを繰り返し、収益の積み上げを狙います。しかし、売ったPUTが権利行使された場合、株価は、その権利行使価格を下回っていると考えられます。そうであれば、その権利行使価格またはそれ以上の権利行使価格のCALLはOTMとなっています。これを売り続けて、さらなる収益の積み上げを狙います





# 売坊流米国株ホイール戦略の対象

収益の源泉	株式		VOL ETF	貴金属 (商品) ETF	債券 ETF	FX
	配当王・ チャンピオン	低位株				
① PUT売りプレミアム	○	○	○	○	○	○
② 行使された後の キャピタル・ゲイン	注目	○	注目	○	○	○
③ PUTが行使された後の 配当	注目	△	—	—	○	—
④ CALL売りプレミアム	○	○	○	○	○	○

**A:高配当株** = 倒産の可能性が低く、高配当な銘柄。

売ったPUTが行使され、それから受けた株式の価格が低迷しても、CALL売り収入と配当収入が見込まれる

例) アルトリアグループ (MO)、ユニバーサル (UVV)、KO (コカ・コーラ)

**B:低位株** = 1株20ドル以下の銘柄、最大損失は倒産。

例) フォードモーター (F)、AT&T (T)、Nokia (NOK)

**C:ゼロとなる可能性がゼロに近いもの**

例) 金・銀、VIX\*注1 (ProShares VIX Short-Term Futures ETFなど)

注1) 取り扱いのない証券会社もあります

注2) 上記は筆者のイメージです

CALL売りの権利行使価格がPUT売りのときよりも高いものにしておけば、CALLが行使されたときに**キャピタルゲイン (現物株の売買取益)**も狙えます





# 米国取引所上場の日本株（ADRなど）ならOP戦略を組める

- 武田薬品 (TAK)
- トヨタ (TM)
- 本田 (HMC)
- ソニー (SONY)
- MSCI Japan Index (EWJ)
- 三菱UFJFG (MUFG)
- 三井住友FG (SMFG)
- みずほFG (MFG)
- 野村HD (NMR)

※赤字の銘柄はサクソバンク証券でOPのトレードが可能

No.	Ticker ^	Company	Sector	Industry	Country	Market Cap	P/E	Price	Change	Volume
1	HMC	Honda Motor ADR	Consumer Cyclical	Auto Manufacturers	Japan	54.27B	8.84	32.90	0.40%	589,737
2	MFG	Mizuho Financial Group, Inc. ADR	Financial	Banks - Regional	Japan	42.72B	9.25	3.37	0.00%	294,107
3	MUFG	Mitsubishi UFJ Financial Group, Inc. ADR	Financial	Banks - Diversified	Japan	100.28B	8.82	8.34	-0.24%	1,643,694
4	NMR	Nomura Holdings Inc. ADR	Financial	Capital Markets	Japan	12.34B	15.43	4.05	0.00%	7,615,842
5	SMFG	Sumitomo Mitsui Financial Group Inc ADR	Financial	Banks - Diversified	Japan	65.37B	11.51	9.80	-0.31%	817,484
6	SONY	Sony Group Corporation ADR	Technology	Consumer Electronics	Japan	103.06B	15.29	83.50	0.64%	322,003
7	TAK	Takeda Pharmaceutical Co ADR	Healthcare	Drug Manufacturers - Specialty & Generic	Japan	47.35B	22.03	15.23	0.46%	2,698,995
8	TM	Toyota Motor Corporation ADR	Consumer Cyclical	Auto Manufacturers	Japan	235.90B	10.76	174.12	0.54%	137,932

出所) finviz.comより筆者作成

米国株OPでMSCI Japan指数ETFをトレードすれば、ドルベースの最大必要資金額がある程度確定できます。また、基本は現物受渡ですので、売ったPUTの権利行使価格でETF買えばいいだけです。したがって、ゲームをその後も続けられます。例えば、その後はホイール戦略のCALL売りを続けることもできるわけです





---

**最後までご清聴、誠にありがとうございました。**

**OP売坊ブログ『実践オプション教室』**

<https://www.jissennkop.blog.fc2.com>

**OP売坊X（旧ツイッター）『@OP49431790』**

<https://twitter.com/OP49431790>

**Copyright © 2019-2023 OP売坊 / Pan Rolling Inc.**

**All rights reserved. This report is for authorized recipients only and not for public distribution.**



YouTubeで『オプション倶楽部TV』を配信中！

水曜22時からパンローリングチャンネルで！！



3つの視点で日本株・米国株・為替などの市場を大きく揺るがしそうな材料を分析します



第一週  
政治経済イベント分析



第四週※  
異常値分析



第二週  
グレイ・リノ分析

第五週はトレード・投資に役立つ  
OPワンポイント解説



※祝日や暦などによってラジオ出演と異常値分析が入れ替わる場合があります。

第三週※はラジオNIKKEI月曜16時～

『キラメキの発想』に出演！

<https://www.radionikkei.jp/kirameki/>



次回ラジオ出演は  
11月20日（月）の予定です！  
そのため11月22日の配信はお  
休みとなります

専用ページ <https://www.panrolling.com/tv/opctv.html>



## OP売坊の無料メルマガ『グレイ・リノ通信』

**売坊先生の配信動画を何倍にも楽しめる**

補足Q&A記事やOPトレードに関する情報を提供中！

詳細・登録は [www.OptionClub.net](http://www.OptionClub.net) から



- ・ 日銀金融政策決定会合はOP**買い**戦略のチャンス!?
- ・ 最近の裁定売り残・買い残の推移から、どのようなことがみえてくるのでしょうか？
- ・ 中国が着々と米国債を売って金を買っている!?
- ・ 米国株の「不都合な真実」とは何でしょうか？
- ・ OP**売り**・**買い**戦略で確認・対処すべきポイントとは？
- ……など

読者には入門セミナーと本コースの受付を**先行・優先でご案内**いたします

オプション倶楽部

検索

# 免責事項

---

- オプション倶楽部TV（以下「本動画」）で使用した図表・数値などは、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性を保証するものではありません。
- 本動画に掲載された情報・図表・資料は、あくまで金融知識の向上と情報提供を目的としたものです。証券など金融商品の売り買いを提案・勧誘するためのものとして、また証券など金融商品について助言・推奨するものとして、利用・解釈しないでください。
- 本動画は一般向けに編集されています。特定の投資目的・特定の投資環境・特定の投資家を一切考慮していません。事前に専門家の適切な助言を受けるべきですし、最終的な投資判断は、個々人が個々の状況を考慮して、自らの責任で下すようにしてください。
- 本動画に基づく行為の結果、発生した障害・損失などについて講師およびパンローリング社は一切の責任を負いません。
- 本動画に記載されたURLなどは予告なく変更される場合があります。
- 本動画に記載されている会社名・製品名は、それぞれ各社の商標および登録商標です。